

平成27年度

収支決算まとまる

医療費（保険給付費）が減少する一方で、納付金が増加し、赤字決算に

平成27年度の事業報告および収入支出決算報告が、7月7日に開催された第63回決算組合会において承認されました。

平成20年度に高齢者医療制度が施行されて以来、納付金（支援金）の増加により全国の健保組合は財政の悪化に苦しんでいます。平成28年度予算では、全組合のおよそ6割が赤字（＊）となっています。
納付金（支援金）は、いわゆる団塊の世代の高齢化により、今後も増えていくことが懸念され、このままでは健康保険制度の持続性さえ危ぶまれます。
全国の健康保険組合の上部団体である健康保険組合連合会では、「公費投入による高齢者医療費の負担構造改革を断行し、現役世代の負担軽減を図ること」を強く訴えています。

*平成28年度健保組合予算早期集計結果の概要より（健康保険組合連合会発表資料）。



介護勘定の収入支出決算勘定は、収入2185万3千円、支出1990万6千円でした。差引額は194万7千円でした。

介護保険

保健事業費には1620万1千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上のように、みなさまのご協力のお陰により、保険給付費は減少しましたが、平成27年度決算も赤字となりました。

一方、支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より2762万3千円少ない8999万3千円でした。

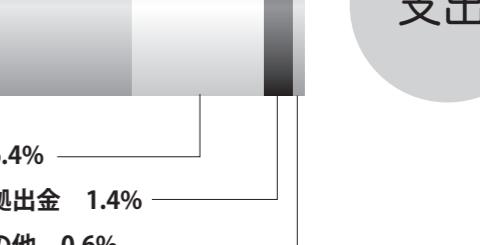
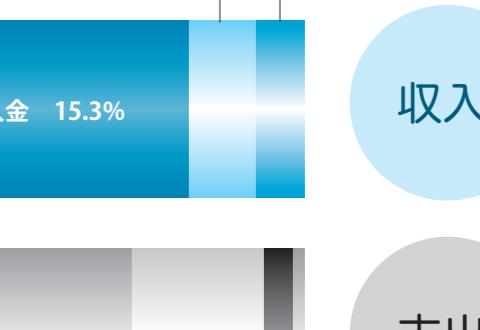
また、高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より538万4千円多い1億867万3千円でした。

当健保組合の平成27年度決算状況につきましては、経常收支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より145万5千円少ない2億1330万5千円でした。支出に対して不足する収入額を補うために4182万7千円を繰り入れました。

以上のように、経常收支で赤字となりました。

健康保険



平成27年度 収入支出の決算概要

一般勘定

● 収入

科目	決算額
健康保険収入	2億1,330万5千円
調整保険料収入	349万1千円
繰入金	4,182万7千円
国庫補助金収入	80万円
財政調整事業交付金	810万2千円
雑収入	662万9千円
合 計	2億7,415万4千円

● 支出

科目	決算額
事務費	3,349万3千円
保険給付費	8,999万3千円
法定給付費	8,989万7千円
付加給付費	9万6千円
納付金	1億867万3千円
前期高齢者納付金	4,975万9千円
後期高齢者支援金	5,349万1千円
退職者給付拠出金	542万1千円
老人保健拠出金	2千円
保健事業費	1,620万1千円
財政調整事業拠出金	348万8千円
連合会費	50万9千円
積立金	80万円
雑支出	17万1千円
合 計	2億5,332万8千円

介護勘定

● 収入

科目	決算額
介護保険収入	2,184万1千円
雑収入	1万2千円
合 計	2,185万3千円

● 支出

科目	決算額
介護納付金	1,990万6千円
合 計	1,990万6千円